



平成30年2月13日

各位

会社名 株式会社 リミックスポイント
代表者名 代表取締役社長 小田 玄紀
(コード：3825 東証第二部)
問合せ先 経営管理部部長 廣谷 慎吾
(TEL) 03-6303-0280

平成30年3月期通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績の動向等を踏まえ、平成30年2月13日開催の取締役会において、平成29年11月13日に開示しました平成30年3月期（自平成29年4月1日 至平成30年3月31日）の通期連結業績予想を下記のとおり修正することとしましたのでお知らせいたします。

記

1. 通期連結業績予想について

1. 平成30年3月期通期連結業績予想の修正（自平成29年4月1日 至平成30年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A) (平成29年11月13日)	11,382	780	750	528	10.77
今回修正予想(B)	13,330	2,664	3,139	2,137	43.17
増減額(B-A)	1,948	1,884	2,389	1,609	
増減率(%)	17.1	241.7	318.7	304.8	
※ご参考 前期連結実績 (平成29年3月期)	5,561	32	6	△42	△1.08

(注) 平成30年3月期末における1株当たり当期純利益は、平成30年3月末日時点の予想発行済株式総数56,940,100株(すでに行使された新株予約権により発行された新株式を含め、平成29年3月末日時点から16,984,500株増加)をもとに算出しております。

2. 修正の理由

エネルギー関連事業における電力売買事業につきましては、電力需要家の開拓は進み契約電力量も順調に伸長しておりますが、平成29年12月からの記録的な冷え込みの継続もあって電力需給がひっ迫する中、当社が電力を調達している卸売市場での調達価格が高騰しております。また、エネルギーコスト削減のために電力需要家の電力使用状況に応じて全部供給ではなく部分供給(※1)での電力需給契約を多く締結しており、気温・天候等の条件によっては電力需要家における電力使用量が変化しそのため当社からの電力供給量が増減することがあります。直近の傾向から当社からの電力供給量はしばらく減少の見込みであります。しばらく上記の傾向が継続することが考えられることから、以前発表しました通期業績予想から減収減益を見込んでおります。

他方で、金融関連事業につきましては、当社子会社株式会社ビットポイントジャパン(以下「BPJ」)が平成29年9月29日付で金融庁から仮想通貨交換業者として登録を受けたこともあり、今まで以上に社会的信用が高まっております。また、海外の複数の取引所等との取引も開始しております。また、先般の第三者割当増資により調



達した資金で国内外のカバー取引先に対して十分な証拠金を積むことができたため、適切なカバーディーリングを実現しており、そのことによる増収を見込んでおります。さらに、BPJ創業時より重視している「安全・安心な仮想通貨取引所」というコンセプトが昨今の仮想通貨市場をとりまく環境において受け入れられ、口座開設数および取引量が順調に伸長しており、さらなる増収が期待されます。

以上により、平成30年3月期の通期業績見通しにつきましては、直近の業績動向を踏まえ、「1. 平成30年3月期通期連結業績予想の修正（自平成29年4月1日至平成30年3月31日）」記載のとおり、売上高、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益のいずれも、前回発表の業績予想を上方修正いたします。

※1「部分供給」とは、「複数の電気事業者の電源から一需要場所に対して、各々の発電した電気が物理的に区分されることがなく、1引き込みを通じて一体として供給される形態」です。当社での部分供給は、その大半が他の小売電気事業者が一定量のベース供給を行い、当社が負荷追従供給（ベース部分を超えた電力需要に対する供給）を行う、いわゆる横切り型部分供給であります。

(注) 本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において当社が入手可能な情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいたものであります。実際の業績等は、今後の様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

以 上